

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年 3月21日

大阪地方裁判所岸和田支部

裁判所書記官 三 栗 野 力 哉

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年 4月11日午前9時00分から 令和 7年 4月18日午後5時00分まで
開札期日	日 時 令和 7年 4月25日 午前10時00分 場 所 大阪地方裁判所岸和田支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7年 5月16日 午前 9時50分 場 所 大阪地方裁判所岸和田支部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。

一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年 3月21日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。



物 件 目 録

- 1 所 在 岸和田市中之浜町
地 番 388番1
地 目 宅地
地 積 57.09平方メートル
- 2 所 在 岸和田市中之浜町388番地1
家屋 番号 388番1
種 類 居宅
構 造 木造スレート葺3階建
床 面 積 1階 30.74平方メートル
2階 31.67平方メートル
3階 31.67平方メートル

(現況)

- 床 面 積 1階 約37.64平方メートル
2階 約36.57平方メートル
3階 31.67平方メートル



物件明細書

令和 6年12月13日

大阪地方裁判所岸和田支部

裁判所書記官 三 栗 野 力 哉

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

- 1 所 在 岸和田市中之浜町
地 番 388番1
地 目 宅地
地 積 57.09平方メートル
- 2 所 在 岸和田市中之浜町388番地1
家屋 番号 388番1
種 類 居宅
構 造 木造スレート葺3階建
床 面 積 1階 30.74平方メートル
2階 31.67平方メートル
3階 31.67平方メートル
- (現況)
- 床 面 積 1階 約37.64平方メートル
2階 約36.57平方メートル
3階 31.67平方メートル



令和 6年(ケ)第 54号
令和 6年 8月 6日受理
令和 6年 9月20日提出

現況調査報告書

大阪地方裁判所岸和田支部

執行官 山内恒雄

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 岸和田市中之浜町 |
| | 地 番 | 388番1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 57.09平方メートル |
| 2 | 所 在 | 岸和田市中之浜町388番地1 |
| | 家屋 番号 | 388番1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺3階建 |
| | 床 面 積 | 1階 30.74平方メートル
2階 31.67平方メートル
3階 31.67平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	岸和田市中之浜町4番3号
土地	物件1
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地(物件1) <input type="checkbox"/> 公衆用道路(物件) <input type="checkbox"/> (物件)
形状	<input type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり <input type="checkbox"/>
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物(目的外建物)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)
その他の事項	「その他の事項」のとおり
建物	物件2
種類、構造及び床面積の概略	<input type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点が異なる(<input checked="" type="checkbox"/> 主である建物 <input type="checkbox"/> 附属建物) <input type="checkbox"/> 種類: <input type="checkbox"/> 構造: <input checked="" type="checkbox"/> 床面積: 1階約37.64㎡、2階約36.57㎡
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない 種類: <input type="checkbox"/> ある [構造: 床面積:
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地(目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)
その他の事項	「その他の事項」のとおり
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない 地方裁判所 支部 令和 年()第 号 <input type="checkbox"/> ある [保管開始日 令和 年 月 日
土地建物の位置関係	<input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

■ 表札等の表示

表札等の表示 所有者の姓、「What's up」

■ 目的土地の現況について

- 1 目的土地についての地積測量図は法務局に備え付けられておらず、境界が判然としないため、形状・範囲は判然としない。そのため、正確には専門家による調査を要するが、所有者が示した目的土地の範囲（目的建物の敷地として使用されている部分）の形状は概ね土地建物位置関係図のとおりであり、地積は公簿より広い可能性がある。
- 2 目的土地は、目的建物の敷地となっている。
- 3 岸和田市役所で調査したところ、目的土地は建築基準法上の道路に接面している。

■ 目的建物の現況について

- 1 目的建物の形状は概ね間取略図のとおりであり、1階に約6.9㎡、2階に約4.9㎡の増築部分が存在する以外は概ね建物図面と一致した。増築部分は既存の建物とつながって一体として使用されており、目的建物と附合している。
- 2 内部の状況は別紙添付写真のとおりであり、家財道具、日常生活用品等の動産類が存在した。
- 3 各階の床に損傷、内壁に亀裂や損傷、外壁と窓枠に浮いている部分が見られた。その他、経年によるものと思われる劣化、損耗が認められた。

以上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■所有者	<p>1 目的建物には、私が家族とともに居住しています。目的土地、目的建物は、どの部分も誰にも貸していません。目的建物に表示がある「What's up」は、私が前にしていた自営業の屋号です。</p> <p>2 目的土地と隣接土地との間に、境界を巡って争いはありません。北東側隣接地の地番388番3の土地所有者と境界を確認して、鋸を打っています。また、他の隣接地所有者との間でも境界を確認し、ブロックを設置しています。</p> <p>3 目的建物新築の少し後に、当時の所有者であった父が目的建物の増築をしました。</p> <p>4 電気温水器がありますが、ガスも使用しています。電気温水器は、妻名義でローンを組んでいます。</p> <p>5 目的建物の北東側部分の壁と床がシロアリでダメになって、住んでいられない状態です。洗面室と浴室の間の床下の木材にも、シロアリによる損傷があります。目的建物はベタ基礎なので、建て替えるのに大きな費用がかかります。</p> <p>6 前に目的建物3階南東側洋室の天窗のところに雨漏りがありましたが、私が自分で修理したので今は雨漏りしません。また、雨漏りかはわかりませんが、3階北西側洋室の天窗のところにも水が伝った跡があります。</p> <p>7 目的建物の外壁と窓枠に、浮いている部分があります。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

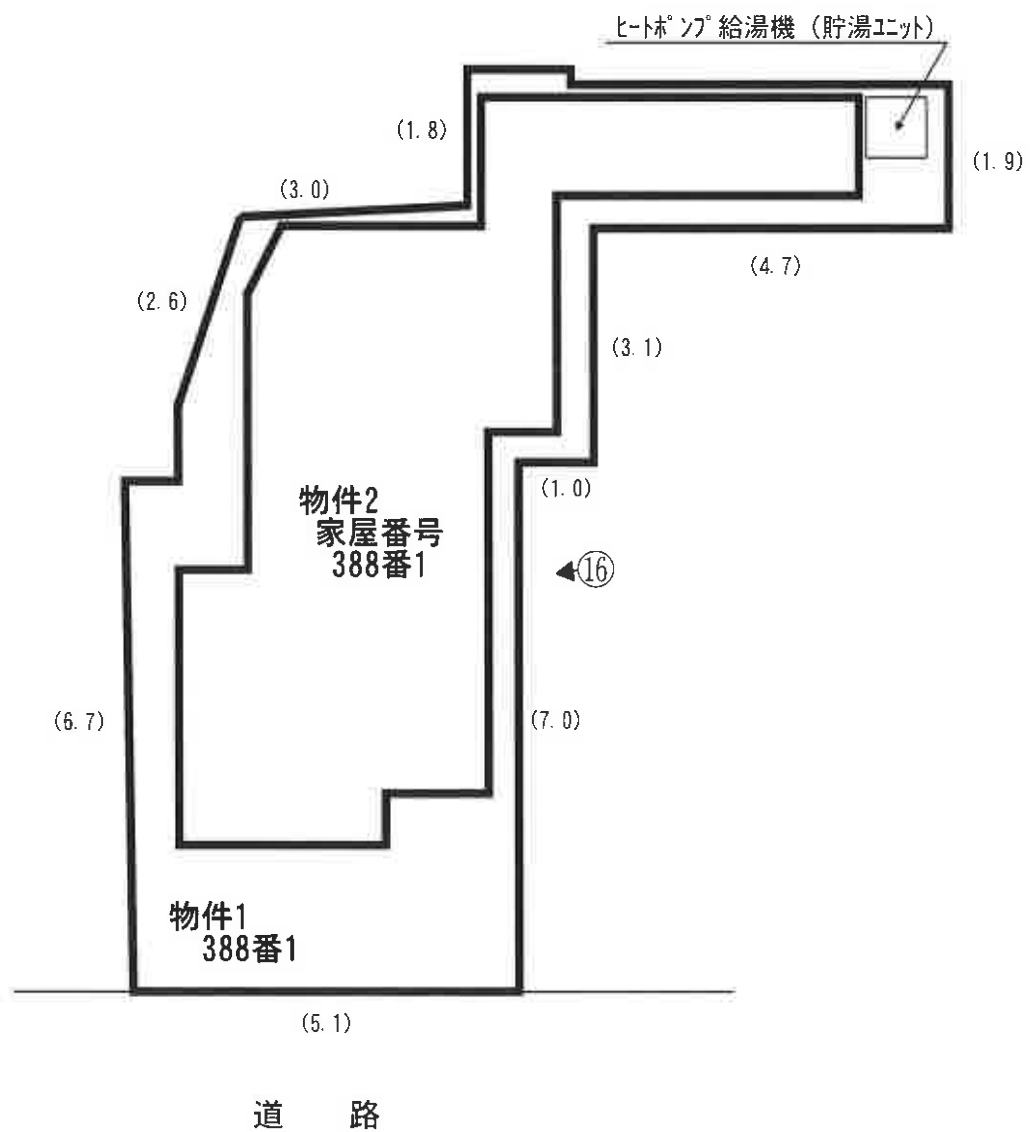
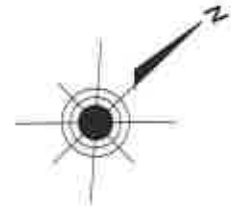
調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
6年 8月 8日 14:40-14:45	物件所在地	物件及び占有確認、所有者の家族に連絡文書交付
6年 8月13日 14:20-14:35	大阪法務局 岸和田支局	建物図面等調査
6年 8月15日 10:50-11:05	岸和田市役所	道路等調査
6年 8月19日 13:20-13:25	物件所在地	連絡要請文書投入
6年 8月20日 10:50-10:56	執行官執務場所	所有者から電話
6年 9月10日 8:55-9:40	物件所在地	所有者立会いのもと立入調査・評価人帯同
年 月 日 : - :		
<p>(特記事項)</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、解錠技術者を同行して臨場した。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、 を証人として立ち合わせ、解錠の上建物内に立ち入った。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。</p> <p><input type="checkbox"/></p>		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図

令和6年（ケ）第54号

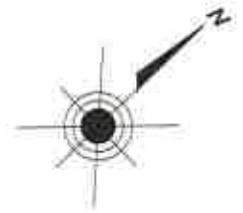
←○ 写真撮影位置方向



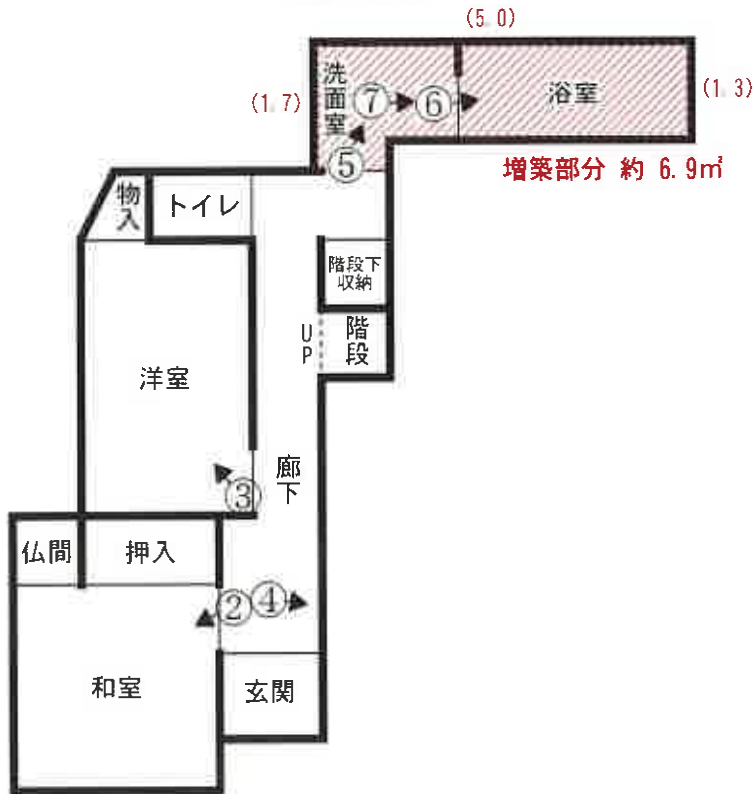
間取略図

令和6年（ケ）第54号

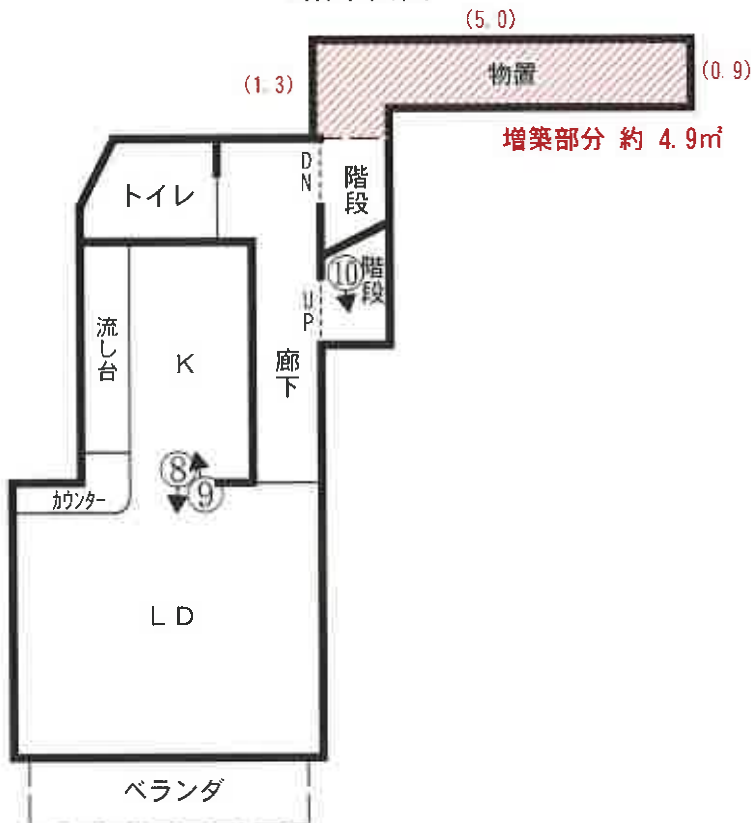
◀○ 写真撮影位置方向



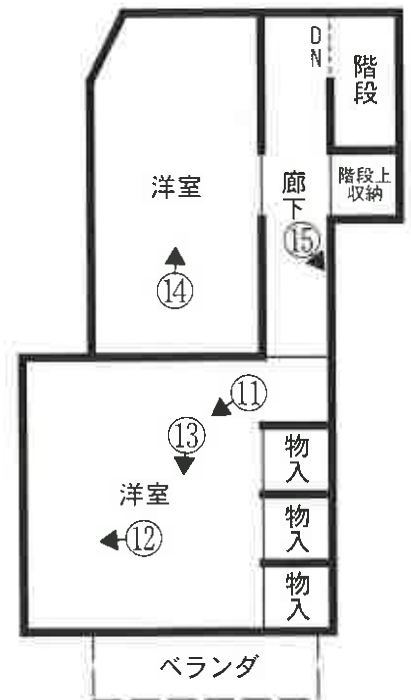
1階平面図



2階平面図



3階平面図



(7枚目)

(単位：約m)

目的建物



①



②

(8 枚目)



③



④

床面の損傷

(9 枚目)



⑤



⑥

(10 枚目)



⑦

洗面室と浴室の間の床下の状況



⑧



⑨



⑩

内壁の損傷

(12 枚目)



⑪



⑫

内壁の亀裂

(13 枚目)

所有者が示した雨漏り跡



⑬



⑭

(14 枚目)



窓枠の状況



外壁が浮いている部分

(15 枚目)

令和6年(ケ)第54号
令和6年9月10日現地調査
令和6年9月25日評価

大阪地方裁判所 岸和田支部 御中

評 価 書

(土地付建物)

評価人 不動産鑑定士

安松谷博之

履歴事項調査済

第1 評価額

一括価格	
金 2,070,000 円	
内訳価格	
1	金 770,000 円
2	金 1,300,000 円

- 1 一括価格は、物件1, 2の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2の建物のための土地利用権価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等)等を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地番 地目 地積	物件目録記載のとおり	特記事項参照。
2	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	物件目録記載のとおり	特記事項参照。
番号	特記事項		
1	法務局に地積測量図の備付けが無いため、現地概測を行った。現地概測数量は、物件目録及び登記数量よりやや大きい可能性がある。		
2	目的建物の1階と2階の北側に未登記の増築がある(1階約6.9㎡、2階約4.9㎡、概測数量)。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等 (物件1)

位置・交通	南海本線 蛸地蔵 駅 北西方 道路距離 約700m (別添「位置図」参照)	
付近の状況	小規模住宅が建ち並ぶ古くからの既成住宅地域。今後も当分の間現状を維持するものと予測する。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分	市街化区域
	用途地域	第1種住居地域
	建ぺい率	60%
	容積率	200%
	防火規制	準防火地域
	その他の規制	第3種高度地区、日影規制、景観計画区域、宅地造成工事規制区域、屋外広告物規制「路線型表示制限区域(阪神高速湾岸線)」
画地条件	規模	57.09㎡
	形状	不整形
	間口・奥行	間口約5.1m(南東側)・奥行約12m
	高低差等	ほぼ平坦
接面道路の状況 (右記「法」は建築基準法)	南東側	幅員約2.8m舗装市道(法42-2項道路)に概ね等高に接面
	接道状況	中間画地
土地の利用状況等	現況	専用住宅の敷地
	南東側	道路
	北東側	駐車場等
	南西側	店舗
	北西側	住宅
供給処理施設	上水道	あり
	ガス配管	あり
	下水道	あり
<p>(注)供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管(以下、「施設管」という。)が通っており、通常の費用で敷地内への引込みが出来る状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。</p>		
土壌汚染等	<p>土壌汚染対策法等、特定施設に係る公的資料調査、土地の閉鎖登記簿、昭和62年・46年・42年の住宅地図、地元精通者への聴取調査による限りにおいては、土壌汚染の可能性は確認できなかった。土壌汚染の有無及びその内容について確実な情報を得るには、土壌汚染調査会社による調査を要する。</p>	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 敷地境界が不明確であり、正確には専門家による調査、測量を要する。 所有者が示す目的土地の範囲の現地概測によれば、登記面積より大きい可能性がある。 接面道路幅員が4m未満のため、道路中心線から2mの後退が必要である。 周知の埋蔵文化財包蔵地に隣接しているため、出土の際は岸和田市に連絡が必要である。 	

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物	
建築時期及び 経済的残存 耐用年数等	建築年月日(登記記載)	平成10年7月6日 新築
	経過年数	26年
	経済的残存耐用年数	0年
仕 様	構 造	木造
	屋 根	スレート葺
	外 壁	サイディングほか
	内 壁	ビニールクロス貼ほか
	天 井	ビニールクロス貼ほか
	床	タタミ・フローリングほか
	設 備	電気、ガス、給排水等
	そ の 他	食器洗淨乾燥機(但し、作動状況は不明)
床面積(現況)	延 105.88㎡ 1階の北側が約6.9㎡、2階の北側が約4.9㎡増築されている(共に概測)。	
現況用途等	階 層	3階建
	現況用途	居宅
	間 取 り	4LDK
品 等	中位	
保守管理の 状 態	経年相応の摩滅・老朽化が認められる。保守管理の状況は普通。	
建 物 の 利 用 状 況	所有者が占有している。	
特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・北東側の内壁や床等に、シロアリによる損傷箇所が多数ある。 ・洗面室と浴室の間の床下材にシロアリによる損傷がある。 ・外壁の一部に損傷が見られる。 ・内壁に亀裂や損傷が散見される。また、2階廊下の窓枠に損傷箇所がある。 ・3階洋室の天窗に、水浸み跡がある。 ・建築確認は申請しているが、検査済証はない。 <p>※アスベスト含有建材使用の可能性について 目的建物の建築時期、構造、用途等より、アスベスト含有建材使用の可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の有無等、詳細については 専門調査機関による分析調査を要する。</p>	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1 (土地)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/m ²) ア	個別格差 イ	地 積 (m ²) ウ	持分割合 エ	建付減価 オ	建付地価格 (円) カ(ア×イ×ウ×エ×オ) (千円未満四捨五入)
1	73,800	0.83	57.09	1/1	0.70	2,448,000

ア 標準画地価格(公示価格等からの規準)

地価調査 岸和田(府)－16

$$\begin{array}{cccccc} \text{基準地価格} & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} & \\ 88,000 \text{ 円/m}^2 & \times 100/100 & \times 100/101 & \times 100/118 & = 73,800 \text{ 円/m}^2 & \end{array}$$

◇時点修正:公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正:	※接面・方位	規模	形状	その他	総合(相乗積)
	1.01	1.00	1.00	1.00	1.01

※接面・方位:中間画地 1.00, 方位 1.01

◇地域格差:	街路	接近	環境	行政	総合(相乗積)
	1.07	1.00	1.10	1.00	1.18

イ 個別格差:	※接面・方位	規模	形状	※その他	総合(相乗積)
	1.02	1.00	0.85	0.96	0.83

※接面・方位:中間画地 1.00, 方位 1.02 ※その他:セットバック 0.96, 縄伸びの可能性 1.00

*縄伸びの可能性については、測量費用等が多大であることを鑑みて増価要因と認めない。

ウ 地積:登記数量による。

オ 建付減価:建物の築後年数や保守状況等を考慮した。

② 物件2 (建物)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/m ²) ア	現況延 床面積 (m ²) イ	現価率 ウ	持分割合 エ	建物価格 (円) ア×イ×ウ×エ=オ (千円未満四捨五入)
2	160,000	105.88	0.03	1/1	508,000

ウ 現価率

経過年数	約26年
経済的残存耐用年数	約0年
観察減価	50%
残価率	5%

耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用し、現価率を査定した。

$$\text{現価率} = \{ \text{残価率} 0.05 + (1 - 0.05) \times (\text{経済的残存耐用年数} 0 \text{年} / (\text{経過年数} 26 \text{年} + \text{経済的残存耐用年数} 0 \text{年})) \} \times (1 - 0.5) \approx 0.03$$

※観察減価は建物損傷状況や中古建物に係る市場の特性等を考慮して査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ=ウ (千円未満四捨五入)
1	2,448,000	0.55	法定地上権	1,346,000

② 内訳価格及び一括価格

物件番号	基礎となる価格 (円) (1①カ、1②オ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	占有 減価 ウ	市場性 修正 エ	競売市 場修正 オ	その他の 控除減価 (敷金等) (円) カ	評価額 (円) (ア+イ)×ウ×エ×オ-カ =キ (万円未満四捨五入)
1	2,448,000	-1,346,000		1.00	0.70	-	770,000
2	508,000	+1,346,000	1.00	1.00	0.70	0	1,300,000
一括価格 (合計)							2,070,000

ウ 占有減価率

本件の場合不要

エ 市場性修正率

本件の場合不要

オ 競売市場修正率

第2の評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮のうえ、競売市場修正率として0.70を乗じた。

カ その他控除減価

本件の場合不要

第6 参考価格資料

1 地価調査 岸和田(府)－16

所 在 : 岸和田市南町145番13 「南町40-10」
価 格 : 88,000円/㎡
位 置 : 南海本線 蛸地蔵 駅 北西方 約680m(道路距離)
価 格 時 点 : 令和6年7月1日
地 積 : 100㎡
供給処理施設 : 水道, ガス, 下水
接 面 街 路 : 北東4.7m市道
用途指定等 : 第1種住居地域(建ぺい率60%, 容積率200%), 準防火地域
地 域 の 概 要 : 小規模一般住宅が多い既成住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和6年度)

物件1	2,808,371 円
物件2	1,451,113 円

第7 附属資料の表示

- 1 受命物件の位置図
- 2 公図(写)
- 3 建物図面・各階平面図(写)
- 4 土地建物位置関係図(概略)
- 5 間取図(概略)

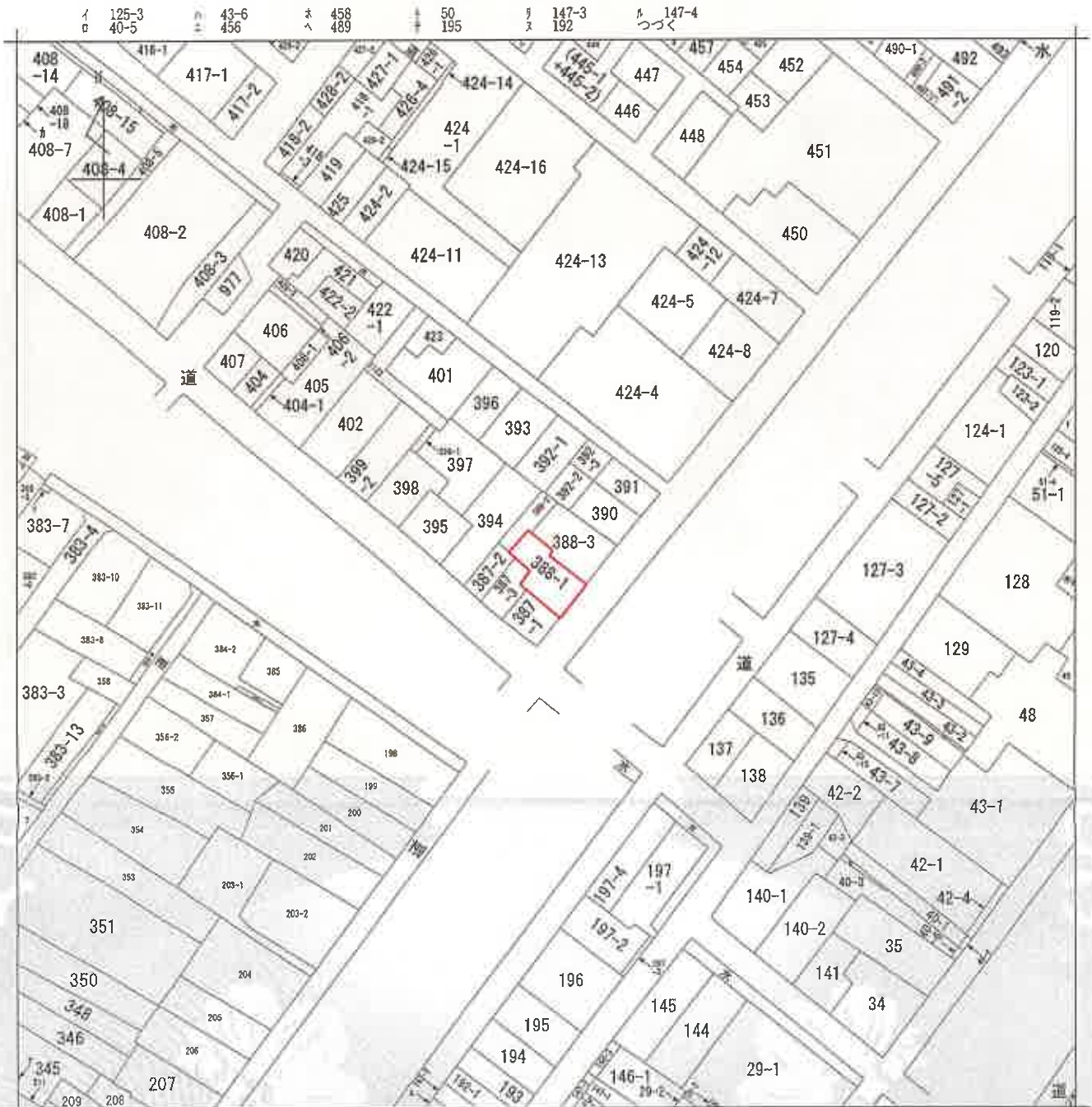
以 上

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 岸和田市中之浜町 |
| | 地 番 | 388番1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 57.09平方メートル |
| 2 | 所 在 | 岸和田市中之浜町388番地1 |
| | 家屋 番号 | 388番1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺3階建 |
| | 床 面 積 | 1階 30.74平方メートル
2階 31.67平方メートル
3階 31.67平方メートル |



公 図 写



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	岸和田市中之浜町		地番	388番1	
出力縮尺	縮尺不明	精度区分		座標系又は記号	分類	地図に準ずる図面
作成年月日				備付年月日(原図)	補記事項	種類
						旧土地台帳附属地図

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(大阪法務局岸和田支局管轄)

令和6年6月19日

東京法務局中野出張所

登記官

請求番号：14-1

(1/2)

A4判に縮小

平成10年7月7日
各階平面図

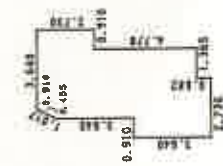
建物図面
各階平面図

家屋番号
388番1

331111

建物の所在
岸和田市中之浜町388番地1

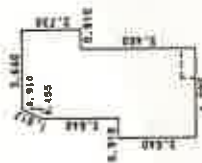
1階



求積表

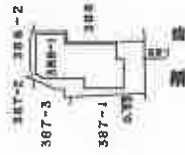
3.640 X 0.910 =	3.312400
4.095 X 1.820 =	7.452900
3.185 X 1.820 =	5.796700
4.095 X 2.958 =	12.113010
2.730 X 0.682 =	1.861860
0.455 X 0.910/2 =	0.207025
合計	30.743895
床面積	30.74 m ²

2階・3階（各階同型）



求積表

3.640 X 0.910 =	3.312400
4.095 X 1.820 =	7.452900
3.185 X 1.820 =	5.796700
4.095 X 2.958 =	12.113010
2.730 X 0.682 =	1.861860
0.455 X 0.910/2 =	0.207025
合計	31.674825
床面積	31.67 m ²



作製者

申請人

縮尺
1/250

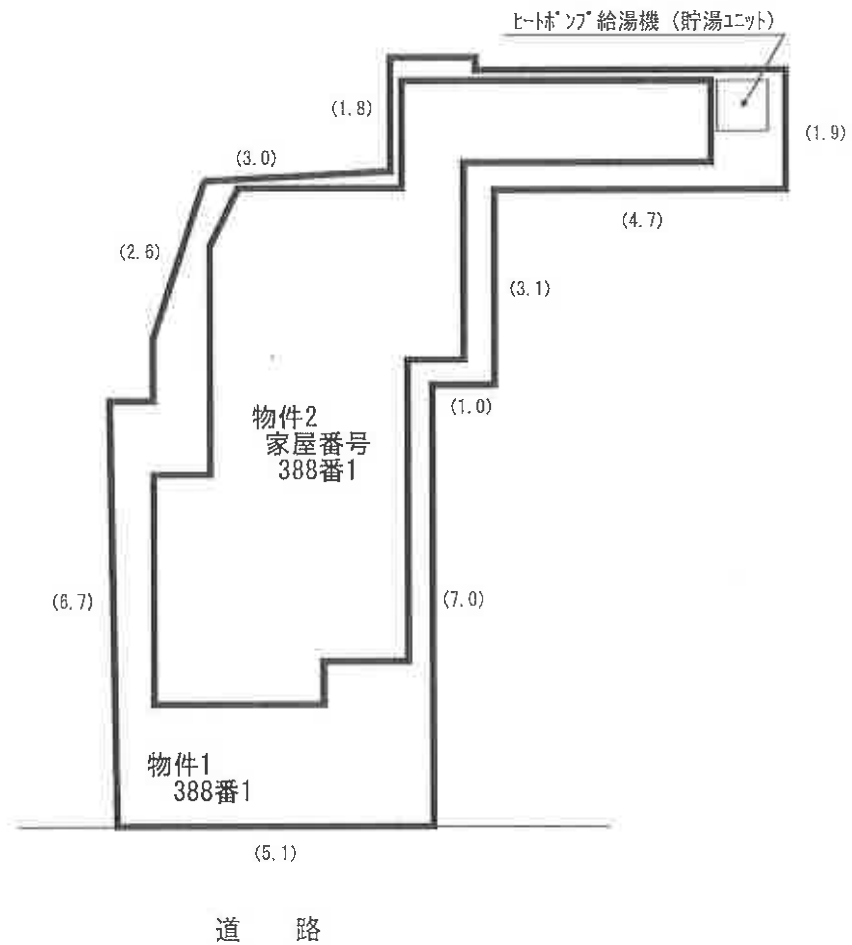
縮尺
1/500

A4判に縮小

土地建物位置関係図

令和6年（ケ）第54号

←○ 写真撮影位置方向

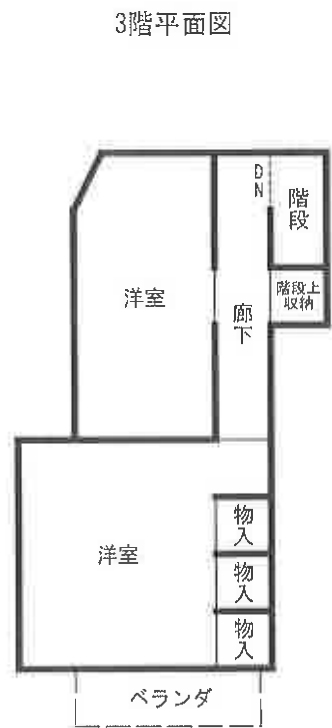
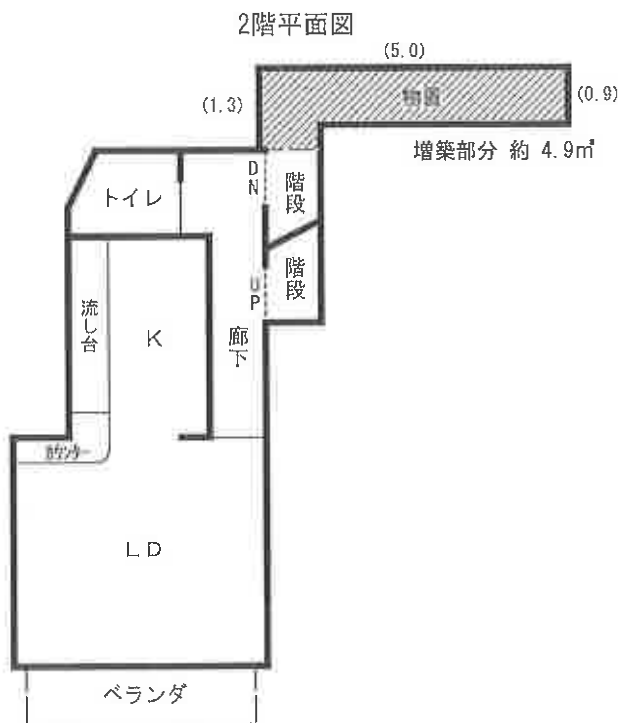
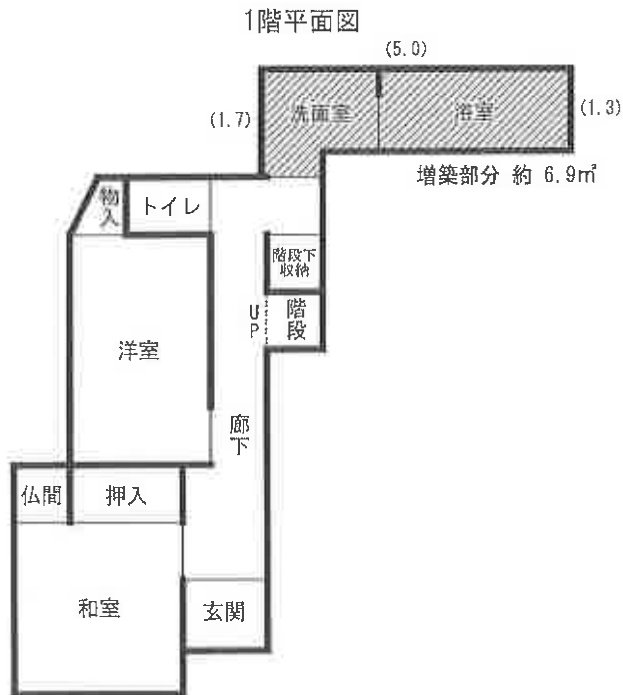


(単位: 約m)

間取略図

令和6年（ケ）第54号

◀○ 写真撮影位置方向



(単位：約n)